

平成28年度「地域共生プロジェクト」実践概要

1 学校の概要

本校は、機械科・電気システム科・建設工学科の3学科で、各学年1クラス計9クラスからなる全校生徒257名（男子256名・女子4名）の工業高校である。

2 実践のねらい

地域の施設等を訪問したり学校にお迎えしたりして、様々な世代の人たちとの交流体験を通して、思いやりの心を育み、地元を愛する心を育てる。

3 実践の内容

(1) バラ園交流（6月2日）

本校内にあるバラ園にて、毎年バラ観賞会を開催し、地域の方々に喜んでいただいている。このバラ園に多賀幼稚園の園児たちを迎え、機械科2年の生徒たちが、昼食会等の交流を行った。美しいバラの花のもと、園児たちは目を輝かせ、本校生徒も花と園児に触れ合い、優しい笑顔を見せていた。



バラ園交流

(2) お店屋さんごっこ交流（10月12日）

電気システム科2年生が幼稚園の行事「お店屋さんごっこ」にスタッフとして参加して交流を行った。本校生徒が6種類の「お店屋さん」（魚釣り（お菓子作り）ゲーム・アイスクリーム屋・ストラップ屋・ヨーヨー屋・玉ころがしゲーム・たこせん屋）の店主になりきり、楽しく交流ができていた。



店屋さんごっこ交流

(3) 奉仕活動交流（10月21日）

ア 機械科3年生が多賀幼稚園で、園児との遊びを通じた交流を行った。その後、幼稚園内の除草作業を行い、園児、生徒ともに楽しい時間を共有することができた。この行事は毎年行っており、幼稚園側からは大変大きな期待と感謝が寄せられている。

イ 建設工学科3年生が養護老人ホーム（道前荘・石すい園）へ出向き、施設内の清掃などを行った。作業の後は、ねぎらいの言葉もいただき、充実した活動であった。

ウ 電気システム科3年生が市内にある西条市東予学園で、除草作業を行った。東予学園側からは、日頃取り組めない場所の清掃ができた大変感謝された。



園児との交流(多賀幼稚園1)



奉仕活動交流(多賀幼稚園2)



奉仕活動交流(石すい園)



奉仕活動交流(東予学園)

4 成果と課題

幼稚園との交流体験では、生徒も最初は消極的であったが、時間とともに、参加した生徒の殆どが、積極的に活動を行うことができるようになり、幼稚園側からも感謝の言葉をいただいた。

また、奉仕活動等でも、多くの生徒が、活発に活動することができ、地域からは大変感謝された。今後とも、地域から求められているものを考え、主体的に活動できる生徒の育成を目指したい。